

※ 自己点検の評価 S:特に優れた実績を上げた  
 A:目標を達成できた,あるいは目標を上回る実績を上げた(達成度が100%以上)  
 B:目標は達成されなかったが,目標達成に近い実績を上げた(達成度が70%以上100%未満)  
 C:目標が達成されなかった,また,目標達成に向けた実績も不十分であった(達成度が70%未満)

項目	番号	内 容	運営計画参照	自己評価
取 り 組 む	1	利用促進の方針に関すること	運営計画別紙2-1	
	1-1	利用者数の確保		B
	1-2	稼働率の確保		B
	1-3	利用促進月間(10月・11月)を設定した企業・高齢者大学等訪問		S
	1-4	近隣市町村商工会議所との連携(下山プロジェクト)		S
	1-5	施設業務運営委員会との協働による特別企画事業の実施		S
	2	広報活動の方針に関すること		
	2-1	新規利用団体の獲得や事業参加者募集における,より効果的な広報方法の調査研究		A
	2-2	新規利用団体の獲得に向けたパッケージプランの作成		S
	2-3	最新情報の提供に資するHPの確認・更新		S
	3	広報活動の充実に関すること		
	3-1	職員一芸選択プログラム及び利用促進DVDの見直し		A
	3-2	利用者アンケート「パンフレットやホームページなど事前の情報提供」における満足度		S
取 り 組 む	1	教育事業等の企画運営に関すること	運営計画別紙2-2	
	1-1	企業や民間団体等各機関と連携した事業の実施		A
	1-2	「子どもゆめ基金体験の風リレーションシップ事業」への参画		C
	1-3	「青少年教育施設を活用した国際交流事業」の企画及び事業評価の実施		B
	1-4	児童養護施設職員を対象とした体験活動の紹介		C
	1-5	北海道「体験の風をおこそう」運動推進委員養成のための研修カリキュラムの策定		B
	1-6	「体験の風をおこそう」運動の普及啓発		B
	2	研修支援事業に関すること		
	2-1	活動プログラムの見直し・点検及び安全管理・危機管理対策の徹底を図った教育環境の整備		B
	2-2	高校・大学等の職場実習や社会教育実習・インターンシップの受入		A
	2-3	利用団体アンケートの満足度向上		B
	3	連携促進事業に関すること		
	3-1	北海道青少年教育施設協議会と連携した研修会の実施		A
3-2	各市町村教育委員会等と連携した体験活動・生活習慣・読書習慣定着の取組や事業の実施		A	
取 り 組 む	1	受益者負担の適正化に関すること	運営計画別紙2-3	
	1-1	講師室使用料,バス燃料費の平成27年度内の導入		B
	1-2	プール使用料の導入,施設使用料減免の見直し実施		C
	2	適正な人員配置及び優秀な非常勤職員人材の確保に関すること		
	2-1	退職教員任用又は若手職員任用の公募による任用		B
	2-2	適切な人員配置による組織改編計画の策定		B
	3	施設・設備の長期計画(施設マスタープラン)の策定に関すること		
	3-1	施設マスタープランの策定及び機構本部への提出		B
	3-2	改修要求事項上位2件の予算化実施		A
	4	50周年記念事業に向けた事業計画及び寄附金獲得に関すること		
4-1	事業計画・予算計画の策定及び協働組織の設置		B	
4-2	応援基金(仮称)の立ち上げ及び寄附金500万円の獲得		C	